事變前何故支那に流行した か、床大氏の支那旅行は民 政黨と對支政策について所 見を異にすると壓明した昭 田中内別が對支强硬政策を 執つて居り張學良も對抗し て排且運動を煽つて居た時 である。この時に採次氏が

は有離いが多くは假定の上は有離いが多くは假定の上に立つてのお話である、に立つてのお話である、成程私の支那旅行は昭和三年十二月であつたが當時兩個間に懸案が滯つてゐたのである、南支からな質情を見てで出來るならば實情を見てのである、南支から奉天に

民政席から「泥試合か」と連種に泥試合的暴露を續ければ東京騰通」山口君更に陸軍

緩和する位の事を約束した とも日本の對支强硬政策を

友席は拍手で摩援する

田中内閣とも懇談し私の意思が同意されて君國に妻し見が同意されて君國に妻し得たと今も信じて居る、此得たと今も信じて居る、此行であるかを知つた上で論議されよ、皇國青年將校祠志されよ、皇國青年將校祠志されよ、皇國青年將校祠志されよ、皇國青年將校祠志されよ、皇國青年將校祠志されよ、皇國青年將校祠志されよる電悟をして來ないやうなものを相手としたければ、私を相手としたければ、私を相手としたければ、私を相手として來ない、本るでればしんとして預心さい、本る

林陸相その他に質問する

高橋君 現時の國際情勢よ

る公債財源による財政計畫の と質し次で幕橋財政の核心た

問題を中心として後藤内相、間種を終る、それより高橋龍一間を終る、それより高橋龍一と変張り山口君の綱紀間題質

億二十萬圓に對し一般行政 大百萬圓に過ぎない、軍事 費は國力が之に伴はなけれ ば國防の安全感は確立し得 ないと思ふ、一人職相のみ ないが事部大臣は國家財政 ならず軍部大臣は國家財政 ならず軍部大臣は國家財政 ならず軍部大臣は國家財政 ない。 この調和に努力して欲し

思ふくとは誰もとは、これのの非難があった。とは、これのでは、

ないから此

を無視しては國民の際

も削れない

五十回丁一町衆達京新 丁牛へ西観察警京新 番のハー三試電

持出す惧れがあるので多分の のものであり更に他の問題も もせず狼狽もしないと稱して

山口義一君の暴露預説に願けしに開けては右怪文書問題

名位の関係

求める筈である

都合で支那の回答を求むるに至らず近く再會見し回答をを求めたのみで新政策には言及せず同日の會見は時間のと汪精衛氏の會談內容は最近排日運動に關し支那の反省と汪精衛氏の會談內容は最近排日運動に關し支那の反省

(皮管業開始 北黒線の一部である 辰 寿 線 ・ 化安鎮辰清間)は去る二十 日から 假營業を開始した、乗 客用列車としては目下混合列 客用列車としては目下混合列

就いた

(寫眞は臧大臣)

来た、山口君は他に噂があるが見逃してやると言ふがあるが見逃してやると言ふがあるが見逃してやると言ふがある。

戦るか™らぬかは自分の勝 通りかも知れないがそれを 通りかも知れないがそれを

政友の暴露攻撃續け

ば

ておき乍ら現地においてか は 抵抗せずして徹退を明冒し ほ

は軍は獅乎として徹底的弾くの如き攻撃的態度に出で

は當然支那個の責任である歴を行ふ决意を有してゐる

斷乎彈壓を加ふ

關東軍司令部當局談

を山口義一氏のア

陸相は之に關し質問の鉢先と 執拗に攻撃して來る場合には としては極力同問題に關すること 一蹴的答辯に刺戟され續いて の方途になつた、廿三日議會では林 之に關聯する暴露演説を以て の方途としては極力同問題に關する 中の必要無しとの態度を採つ の方途 としては極力同問題に関する 中の必要無しとの態度を採つ の方途 としては極力同問題に関する という という はいまでもあり登 或ひは

政府 としては陸軍當

須磨總領事と

北黑線辰

清

線

精衛氏會談內容

怪文書問題に關する

陸軍當局

陸軍に方途を講ぜしむるか

五十萬圓怪文書

3つて落された、 水りこムに 戦端は

軍の損害は

この酸鬪においてわが

敵軍を撃退し 午後三時に至り

日四十二 月

酸行所

三 一十一 四 五十 数 類 類 門

新人・木越門 2介 東京田田新聞社 東京田田新聞社 東京田田新聞社 東京田田新聞社 東京田田新聞社 東京田田新聞社 東京田田新聞社

宋哲元軍逆襲 皇軍遂に行動を開

史に某地向け進

更に二十四日 ある

うだが、それとても政友會 たぶけのことで誰一人意識 して関係してゐると言ふこ とも無いし勿論將校以下十 数名が関係してゐる等とい ふは全く事實無根、要する に山口君の演説は床次氏攻 際に名を韀りて陸軍に對す る間接射撃だ

を極めて不快の感で批判して、かりであるとの見地から二十 臓を高いて不快の感で批判して、かりであるとの見地から二十 臓を傷めて不快の感で批判して、かりであるとの見地から二十 臓を

A平洋政治協定締

先づ英國ご折

注意を促さん

臓し政府が何等 政友系は爆弾動 會全体として た事は同氏自身

題を以て床文遞相攻撃に當つ本會談で山口義一氏が綱紀間本會談で山口義一氏が綱紀間 もので、政友並に其周国の 意向の反映で

政友內 早くも物議 を醸してゐる、此空氣に依り 同問題を続つて今後政友會於 傾處迄本腰に突込んで行くか が派の指圖を受けてやつたも 不結果に終り政友會の黨内情 反感を買ひ又質問そのものも のであるが却つて舊政友系の

注意を促す意向である を負會の席上或は頼母木氏あ たりから非公式に久原氏等に たりから非公式に久原氏等に とを憂慮し、既に黨内に物議 題の突破に依つて政府の感情 題の突破に依つて政府の感情

を大きくなる都市だらう を大きくなる都市だらう を大きくなる都市だらう

学吸づいてあるやらに見えた。 しつかりとして襲まつたこの室。 なまで、花の騒音が、強くの海 歌手な花もやうつ雅潘敏が、 歌手な花もやうつ雅潘敏が、 なるへの砂か千夫人人の残る。

空気がこもつて、化粧酸や椅子 につよい香水の行ひの飽和した

が外れて、

限

りある人生

3

呼吸づいてゐるやうに見えた。などのせんさいな線が、まだ、

田軍政部顧問

内地に榮轉

師をうごかしてゐるのだつた。 けるためにかの女は枕のうへで 3000

という。 をはよってみた。 をはよってみた。 をはよってみた。 をはよってみた。 をはなっている。 をはないる。 をはなない。 をはなな。 をなな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をななな。 をなな。 をななな。 をなな。 をなな。 をななな。 をなな。 をななな。 をなな。 をなな。 をななな。 をなな。

が織のやらにさし込

その一つが眼をさへぎ

山お土産があつてよ…

遊びなさい」

隊備交渉と關聯注目さる

山本海軍

宋までの豫定である

臧民政部大臣

歸國の途に

一月八日當代表

やさな足骸が聞えて間もなく、 いさなないので、まだ趣堂うと しなかつた。すると、廊下に、 ですると、廊下に、

軍事費偏車と

日正午新京設はとで赴連した氏は事務打合せのため二十四氏は事務打合せのため二十四

事務所長赴連字木寧北建設

念である。

だ起きないので のあく音 5 と、呼ぶ酸といつしよに、ド Z

らゐの、どこか腺病質らしい男 もう、お強よ、ね、ママー主 ひながら、夫人の襲撃

あひだに出来た、韓といふ子供 「あの、パスを出しといておく と、命じてから、立つて行つ してま

ズ・テップを一枚とつて、 金内が、夜明けたぞうに急にな した夫人の様子を タアで火をうつしてゐたっ たの夫人は、アプデュラのロウ るなく。 の、バス・ルームへ入ると、 かるくなつた。おきよが、 お田の音がきこうとき 腔に、しきりにから



りさらになつてゐる。 ものでもみるやうに、膝めてみったりなって、夫人の離を、繰らしいをない。 た。黄色い、パツヤマのボタン にして、寝るから、脚だけ ||夏川 日江作 きつと今夜あたりでか いまにも肩からすべ いつ殴つてくるんで

棒ろすと、

あた。

たまりもなく敵軍を撃退して 一名一である、 大 尉 (中職長)一名 る某地を進撃中で 多自珍の所在地た の旅長 民政黨から

れてゐる おり間鏡の競艇如何では相當 協定成立後の養後處置でソ聯は先づ廿一日で考究すべき細目餘項につき請訓中だつた る見込で 側の見解を述べ更に北鐵護渡協定担草委員會設置につき協議決定する筈で起草委員會は廿八日から後處置でソ聯は先づ廿一日までに纏つた協定内容に闢しソ聯政府は承諾の旨を正式に表明、次で細目鲦項につき請訓中だつたが愈よ廿四日更に東郷歐也局長と會見することゝなつた、本日の會見は鏤ツ聯代表カズロフスキー氏は廿一日東郷歐亜局長との會見に依つて成立した協定内容並にソ聯側

鐵讓渡出

内容はリ聯政府も承認

かっ

ら開

員

曾

最後の切札

朱澤大標 下,林 報子子

女八人感

激時代eu

を開くない。 ・ は不徹底である、荒木前陸 は不徹底である、荒木前陸 は不徹底である、荒木前陸 は不徹底である。荒木前陸 いて公債財源に頼れば必然 いて公債財源に頼れば必然

る。こんな際

だった。

『ママのお腹坊ー

もう起きな

個人本位から

日 後一君登壇 山口君 その印刷物を出した 時軍少佐である、だからそ 時軍少佐である、だからそ の親白を示すためには取消

が出

入分散會した 大分注意する の問題

大連へ

將二十四日正午愛は

夫人は、

い顔を、ちよつと振り 「うるさい子

、呼いてゐるのだつた。 「何か考へても、 ね、いき趣きます へてゐたらし

たくので

日本版 全發聲 人大鉄十五

星人正口 7 大二 二 英ル世

迫負力、學

て、小間低ひのきよを呼ぶと、

しまつた。夫人は、ベルを押し

でに、ちょこなんと腰を向して というななない。 とこの大きな椅子の一

「中だい」、水人、

ママの所が

演助 好是村中,子やつ江近,子清、高、明井岸● 高最界 斯本 日、際 賀 全● 横出總同 合 座ー イデメコクッジュミ● 用使 #影 撮 ルエ いあさ、すでるけ あを 査 とつ ば ★飯 かく

一日間共畫夜二回上映 H

前新京地方事務所長荒木章氏。でこうした施療患者は事變前

大經路署の

遺失品展覽會

好成績

今後もやる

荒木前所長

少年團へ寄附

ることも出來ない哀れな人々 はなく、内地から送金を受け 來者であり職はなく、 靖安軍死者一名、負傷一名敵匪死傷者十五、六名

部は内地人で、その多くは新 鮮人三名、滿人一名のほか全 であるが本日當地に到着した を定に動稿してゐたが、最近 を可能首されるといふ風說に を記載者してゐたが、最近

展説傳はり、悲喜交々の有様 は奉天國通】北鐵交渉の解决 も大詰めとなつたが之に伴ひ も大詰めとなつたが之に伴ひ が変くの間には強々の が変しまする。

してゐる東京生れのライオゾ雌雄二頭を獻上することに內定した 「東京國通」今春四月御來訪の滿洲國皇帝に東京市では現 在上野動物園に飼育

東京市ライオン二頭を獻上

特に婦女子の抱へてゐる

行方不明の男は

線路上で死

泥醉の上ふり落されたか

消店員有志大會も 當局の鎭撫で中止 太子堂で有志懇談會を開く

會合更に店員側としての消費組合撤慶運動に闘する對策を協議した、尙公會室に於ける有志大會は當局の鎭撫により開市店員の意中とその立場を考慮、有志懇談會として太子堂に開催することゝなり今曉午前五時から太子堂に店員代表者 二十四日午前七時から記念公會堂に開催するはずであつた反消店員大會は朝刊所報の

> 特務科各科長より左の如き場份警務、司法、保安、衛生、 示事項に依る審議をなした特務科各科長より左の如き指

當り人民の信賴を得ること、警防には須く虞鄴を以て

二、特務警察に闘する教養實一、特務警察に闘する計情報

第一段の策を協議

し努めて志氣の振作を期す 、 関察を陥み訓練に力を竭 がはて則とすべし がある以て則とすべし

項及分駐所の處務に關する。 科長専行 署長並等行事

△特務科

の上申は司

の如き訓示があつた

参考報告の順行に闘する

△保安科 一、行事計**署**質 二、舊獻末年始 方る件 する件

十三日午前

□、鬱土の不當補充に闘する
「、皇帝陛下助日行幸事前査」

首

都警察廳 管內署長會議

近ごろ不屆きな 力車夫

は離京に際して西廣場小學校 および 新京少 年團 へもそれ

新京の乗用属車夫が人嫌ひし 荷物を無理に車上に持運ぶな さでいので市民の間に非難の 経際祭官吏詰所で一月一日か 最近馬車数が激増した關係か どで申告した数が質に六十八 反動に新京驛、消費組合、お 件、一日平均三件の違反者が どで申告した数が質に六十八 大社し馬車、洋車が旅客、買 れん 科料處分に附せられて りかかへりの婦人達を引張り合 るる 無理無態に客の荷を運ぶ 事を希望してゐると

ひ日本製品の承徳市場進出も、承徳における邦人の進出に伴
熱河聖職後治安の恢復と共に

の均等を企圖 自發的に利潤

本製品の進出を阻害するものに物價の騰貴を招來し最近ではかくては邦人の發展及び日本製品の進出を阻害するものと憂慮されるに至ったので在一月下旬承總實業組合を設置し自發的に利潤の均等を行ひし自發的に利潤の均等を行ひと憂慮されるに至ったので在し自發的に利潤の均等を行ひと憂慮されるに至ったので在と憂慮されるに至ったので在と憂慮されるに至ったので在と憂慮されるに至ったのでを表現の場所を表現している。

舊正は特産物か

6

大豆の山

策を講じてゐる

旣達特務關係年中行事表

報告類の迅速遵

検索駒行方の

力車宿の査察

関する件

天然水採取禁止に示する

五、阿片吸食證月報に關する件四、阿片吸食證に關する件

三、鬢師の身元調査に闘する件

医師の身元調査に闘する

る件

連座規定適用の徹底化の

保甲制度の強化及監督機

件

小川運平氏逝く

▲ バスケット

(玩具) 一個酸

一日午後一時東京芝區愛宕町選に逝去、享年五十九、二十

活般となっ

とは新京市中各銀行の特産貸出資金の激

旅

行

氏その他名士多數の發起で盛青松寺で頭山鵜氏、内田良平

金に替へられる特査

書正月は先づ特産物の消化からと

テルの小火 フランスホ

野は泥醉のまゝ乗車途中で線路内に眺落死亡したものとみられてゐる 出動を待たず消し止めた、 討伐に奮戰

たが、家人が競見、消防験のりフランスホテルから出火し 止めた、原 消防職の

一月十八日午前八時溝道河子 で収扱つた施療患者は全部で「檸機關銃、歩兵の各一部職は 年四月いらい十二月まで同係薬池少尉の指揮する貨機關銃 務所社會係の調査によると昨 な人々が殖えてゆく、地方事 な人々が殖えてゆく、地方事貧困のため施療を受ける哀れ

御來滿洲國皇帝に

衛生工業協會新京部會の主催 煖房取扱座談會

大衆的舞踊を主眼としただけなく殊に「新京よいとこ」は新京を表徴した歌詞音調申分 を博してゐる、兩作共に肖都へ發賣と共に非常な聲行好評 二作で期待せられただけに愈

で二十六日午後一時から市内 古野町記念公會堂で援房収扱の座談會が開催される。 會費 愈よ發賣 々好評期待せら

「新京よいとこ」

天、新京の満洲三都代表歌新 民議は各地一海に廿一日より とでは、新京の満洲三都代表歌新

漸次殖えゆく 本年度に入って三十四名 を では一名もなかつたもので 和香吹込三味線體吉、小友のまでは一名もなかつたもので 和香吹込三味線體吉、小友の 社會係の施療調



舊師走の吉林に

養木金 八千元 養木金 三千元 樹房及び過量―西陽河西太平街 て残盗國が出沒押し迫つた舊師 起つた殺人事件、而も被害者 ばに投げ込まれた形だ、被害 萬市民は底知れぬ恐怖の坩つ 以といふ怪事件とあつて十四

歸順許可さる



金票對國幣 110243 金票對國幣 110243 4

大經路署講堂で催された遺失 品の展覽會は豫定の如く。廿 三日午前九時から同午後四時 まで行はれたが落し主の申出 で非常に多く受領したものが

であた遺失品がそれぞれ遺 失者に闘つたことは喜ばし 失者に闘つたことは喜ばし なるな遺失品がそれぞれ遺

相は更に趙玉雲を派し錦州における左龍四種登業を經營せんと許可方を縣公場に顧出でた。大震夫る五日許可されたので

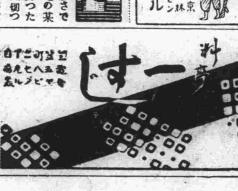
ふの銀相場 電五三九五卷

事件は早くも迷宮入り

は立白食 品を料!! 立食 二五通條一東京新

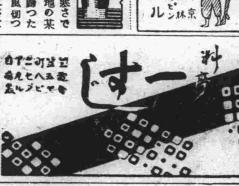
白てこの当世



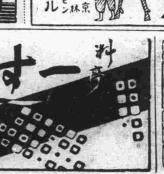












名支本屋店店

















レ勿ス落見 東京銀座の人気者・・・

ス様ニ男御年通り ○ 御注意☆モ御願ヒ申上マス左ノ如ク休業致シマスカラ御注交とと

備ヤ下配

新京日本福通り

日曜金 26日

●チャップリン獨得の●チャップリン獨得の 製チャップリン君送別のタベ 日曜土 入塩料 五十銭 街の灯」ピイナッツペンダー「ものまね

大泰加新仁泰裕松 新茂 同同正 月 十二五日 十六五日 三 六二三五二 一 六七一三〇 四 七六六八三 九 八〇七八二 ニニ九七番 三五八二番 二一五六番 HIII III 平常通り

ずの地上する大連で

炭、貯

品質優良● 採石場陽木林子聞) 專門福記公 新京朝日通八一 **电話六七九四番**

電話五三〇二番

の人 人事に勞して効率らざる日継談尤も凶率らざる日継談尤も凶不と変が吉本と変が吉本とをが方の人 金銭出ることを不と土が方の不と土が方の人 午前中物事手控



▶いる下用利御非是をスンヤチのこ◆

賣廉切見大物冬の行洋林秋気

の掃一荷殘は行洋林秋際此……すこんら終に既は多 行斷引割二り限に部全物冬及品製皮毛 革 製品

日五十二月

開 生れました 是非一度御來遊お待申して居ま 料亭 喜良 小座敷で粹な 小料理つめ きて

石之者今般都合ニ佐リ退店仕候ニ付テニの関係無之候間此段謹告仕候ニ付テニ

新京日本橋通七二不破洋行內 新京東二條通り三人 八爾今鄭店上 材 社

> 日本橋通り二下 電話二〇三二番 * #

左記の通り春季總會を兼ね新年懇親會 左記の通り春季總會を兼ね新年懇親會 音質金一関五十銭 當日御持参被下度 會資金一関五十銭 當日御持参被下度 音質金一関五十銭 當日御持参被下度 おの江 に自情 新京飛行場南端(野小大 樽 (正味十六貫入)

平型三分計 1 間 3 0 錢 棒状一分計 1 圓 5 0 錢

お待ち鍛ねの……ト テモ

味のよい

名 牧場 (電話二〇八八番)

0 な

員 入浴隨意誠實低康永滯在 新築落成煖房諸設備完備 の方は最適

七

〇前

(道路舗裝完成)

海

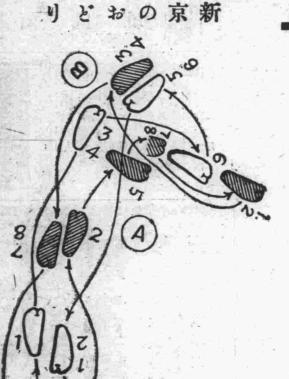
東亞與業株式會社新京出特別市新發屯清和街第一〇一號下八十十四]前家

家敷設間場新 水四四洗

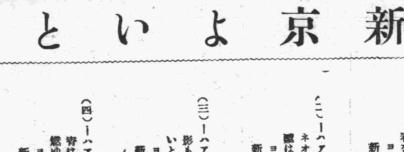
式便所 賃 六六叠叠

に誰 踊も

歌表代 新 都



京 新



ヨイデャナイカヨイトキテ 物ゆる思ひの パラライカ、チョイ 物ゆる思ひの パラライカ、チョイ ヨイデャナイカーヨイトキャいとし姑娘戀ごゝろチョイト影もあやめの西公園に



新民謡新京よい 二八二一九三条線 大村能章作曲並編曲 {佐藤惣之助補作}





を使にあげます「八、」 のはいけっせ、「大に親んで がら届げて前にあげ左手を がは、一大に親んで 有足を深く後に引いて半 (寫真も) 向きになり手拍子 一つうちます (塩

ムピアオ ゲストラ この踊りはレコードの 新京よいこと

新民謠 | 古關裕而作

百五十

萬圓

路總局新廳舍

和通東一條角

歌新京職業紹介所 水 人 水 職 は

年二日 ●年前十二時年開演 下一人 五十錢 下一人 五十錢

ボーイ 子 守 外交員 女 中 中 前持 女店員 女 中

北澤製版所

六、 六、 六、 六、 六、 元〇八

九、七八八九

を以て築造

鐵從栗員を國籍別にみれば火 れること、なつたが現在の北 れること、なつたが現在の北

新京

ac 開 動 動 型 屋

尾新聞舖

電影五七カ三番

看護婦會

福奉 證券

十二日%

吞座

仕りなる者今般

ハー切關係無之候間此段謹告般都合ニ依リ退店仕候ニ付爾藏 迫 泰 輔 四十五年

謹付告爾

京)朝日新聞 時間 新聞

若干名

文化機

昨年末の施設概要=

香港

の九割を占める蒙昧な民衆に向上と民族融和の促進を計るため各種社會教育機會を與へ國民文化の位上と民族融和の促進を計るため各種社會教育機關及び修養教化團体を設置在における諸文化機關の保護を示してあるが康徳元年十二月末現在における諸文化機關の俄要な行者の如き進展を示してあるが最高で、衛生、學術等に関する通俗調質所 五五

京新

一日滿洲に起つた低氣壓のため廿二日來十一米といふ大暴 風雪襲來、漁船の順覆、交通 の杜絕等被害甚大である

片岡千惠藏、伏見直江主演

募店

市内ニ確實ナル保證人ヲ要ス

毛糸の店

季量

岩間商會宝石部

雁太郎街道

TIX

は

電話四个社会

十二月輸出入額 (東京関通)昨年十二月の日 本全土の輸出入額は左の如く

新 京工章

意味 木 工 前 本 工 一 本

雇

一月以降の入超男権 人 ニカ

超累計

込み下さい 東一次

ますハガキで御申

の賣買に

新義州の對滿貿易

空前の最高額

のよめります

ます、從つて營業年度は一ケることを得ずと規定してあります。傑つて營業年度に関する規 以下であれば其の 滿洲 長 を命じますと却で

は監督上及統計作成上相當不 實際に於きましては行政監督 切は監督上及統計作成上相當不 實際に於きましては行政監督 切り銀行業者の實情を見ますと ら十二月迄を營業年度とし大 としてものもあり一年又は とうくで中には營業年度を半 七月から十二月迄、年二回の ン に依り矢張り少くとも一月か 大 に依り矢張り少くとも一月か 大 に依り矢張り少くとも一月か 大 と こ年としてゐるものがありま し、夫々業者を籌導しつつあ す。之を遽に日本及中華民國 ります、業者に於ても漸次財 其 す。之を遽に日本及中華民國 ります、業者に於ても漸次財 其 す。之を遽に日本及中華民國 ります、業者に於ても漸次財 其 からしてゐるものがありま を一年以下として決算を强制 を一年以下として決算を强制 を一年以下として決算を强制

其を御覧下さ がこまかに決めてありますからい、中華民國の

切なことであります、財政部大臣に提出する業務報告書はどんな内容のものであるかと とんな内容のものであるかと シフレット二十四頁に雛型と して其の ボランスシートの公告は銀行 本の銀行法と同様であります 本の銀行法と同様であります 現在 では午前九時か た、朝七時から夜の十二時迄)といふ き 極々様々である事が到りまし た、朝七時から夜の十二時迄 といふ き た、朝七時から夜の十二時迄 といふ き しゃつてある所もある又吟爾濱 ま

きましては今迄の慣例上、又とは夫々銀行の隨意としてあとは夫々銀行の隨意としてあ

前郭族間が去る十五日開涌 京大線の未開通區域たる農

京大沿線視

料 戲 掲

土

地

家屋

舖店 理管產動不

すので特に特例を認めて居りま時と言ふことになつて居りま

型の七四三

船の制度あり

醫院

を行ふ事になった。 を行ふ事になった。 を行ふ事になった。

英國造船學會は二十二日東京【ロンドン二十二日發國通】 から金盃授與 英國造船學會

帝大工學部教授平賀職中將に 金盃を授與するに決定曩きに 提出した船舶の抵抗に關する 研究論文が造船界に貢献する

本东京取引外仲貴人 港級和取引外仲貴人 是於町土番級。 是於町土番地 大大大東京的外仲貴人 電氣治療 熱果絕大 医明二丁目二八 医明二丁目二八 語病適應

從事員か

有力であるが、候補地三

高橋寮院 院

あんまで無いるなり、一旦の生活に出るなり、一旦の生活には、一旦の生活には、一旦の生活には、一旦の生活には、一旦の生活には、一旦の生活には、一旦の生活には、一旦の生活を表現している。

着迫した後同倉庫に放火して を十三日満洲里牙克石北方約 ス十支里の地監にあるウォラ ンツポッ林場倉庫附近にソ聯 大が襲來、設砲して林場員を

北海道に

多少不均御用便完

大ジャングルドラマ

ボーバラ、ペットフォード ルーバラ、ペットフォード ・ 主演

世界無双獰猛なる瞬頭の蛇木 とエロとグロの大交錯 営ての名作「旅は青空」以 客での名作「旅は青空」以 来の千惠黻と伏見のコンピ

*

●天草丸毎月一、二十一日 海津穀 後五時 海津穀 後五時 ● 関議とは ・ では、 、 では、

日本海日滿 連絡船敦賀行 演

小內

兒

科科

杏林堂醫院

接

場

第二年 本本 大公開 東作 邦枝 第二

治療受付

正午より午後三時まで

北日水汽船の大阪商船株式會社大阪商船株式會社大阪商船株式會社

中国 (社質切符は復略運賃二年) 東島 市扱 所 (社質切符は復略運賃二年) 東京通用期間三ヶ月) 東京 高速 では、門司・神戸間乗船切り

日丁二番七七 大連、門司、神戸開業船切れ、門司、神戸開業船の行(往復切符は将車連絡切符(往復切符は指車連絡切符(往復切符は新車連絡切符(往復切符はが上げり)

美美洋

術術髮

ジャ美容室

爪顏

電四九六七番 組 千

9

祷店

町士

隨意

入院

前會教光金四五通條一東京新 **社 成 萬** 番四八八四話電

電話

スマシ致融金テニ利低話電

介買

介紹御宅住

12 大阪商船出帆

斯光記

科診目療 花外内病科科、

或 新京水樂町三丁目 都 醫 肛門病科 兒 科

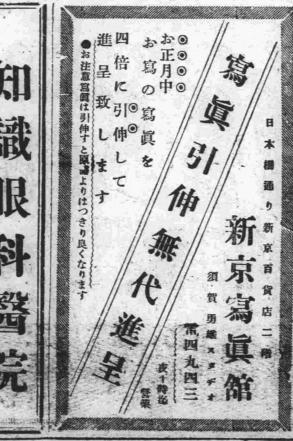


右之者今般不都合に依り解雇仕候間爾右之者今般不都合に依り解雇仕候間爾 場合の 関系の O 事會課社 は品産土御のり歸地内 實 澤が品す召に氣御トツキ すまいざご山 9 恭 Ė 国会商問告 部石 前局便即過中中直對

岩干名

廣

知 「電話開通」 利 大 電六六四天番六

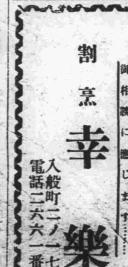




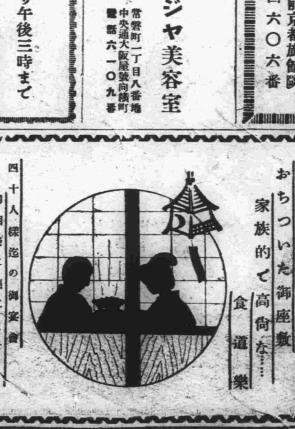


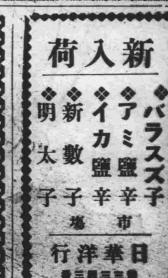






島 信之





政性に就て左の如く四、民政黨では綱祀

民政側は斯へ觀測

前中で打切り二十六日より連管であるが同日は午後本會議

攻撃は正當

駐平日本當局

意向

日本軍の

同地問題ごして解決

を提議か

綱紀人權問題

發展性乏力

との强硬論

お局 お選相追及をせ

I THE

頁八共刊夕紙本

設行所、報点員目新開社 第5本集的日/1

manama

調印同

時に行ふ

一鐵電信

旧線

收

御程寺 人人人 がか

特徵 定率 全會 開報 計 管表一 研 基 报酬

一十

爆弾を投げつけて 凝ご靜觀する政友

氣味悪がつた政府チョッピリ 追加豫算を承認か

国る議會の論議は大体に於て 東京関通」 耳閉以來二日に 東議院に於ける床次遷相に終 まる鞠郡紊亂事件等は何れも を議院に於ける床次遷相に終 まる鞠郡紊亂事件等は何れも

三日の二十四日も平凡に終つ議の展開を見る能はざるため自動的論

外相演説さ

が、日の

ユース論説

宝の龍井貫一郎の諸氏が済めた。関同の山道襄一、第一枠大、関同の山道襄一、第一枠を入り、民政党の済藤隆

同 「南京國通」汪精衛氏は廿二 見るに決定した模様である 日野 かの問題も深刻化し來るであ 介石氏を訪ひ、黄っ氏を交へ 哲として圓滿解決に向ひつつ 否と 上を延期し暫く交渉の成行を し上を延期し暫く交渉の成行を し上を延期し暫く交渉の成行を しかる折柄この際唐有壬氏の北 出上を延期し暫く交渉の成行を しかの問題も深刻化し來るであ 介石氏を訪ひ、黄っ氏を交へ はいの問題も深刻化し來るであ 介石氏を訪ひ、黄っ氏を交へ はいの問題も深刻化し來るであ か石氏を記が、黄っ氏を交へ はいの問題も深刻化し來るであ か石氏を記が、黄っ氏を交へ はいの問題も深刻化し來るであ かるに決定した模様である 日

7

【上海國通】廣田外相演説に ニュース論説要旨左の如し 多数の先任者と異り廣田外 相は議會演説中「南京政府 相は議會演説中「南京政府 を年の努力が報ひられ、支 野に進んで日支關係安定の域に進んで 居り問慶の至りだ」と述べ 医り問慶の至りだ」と述べ では、將來かゝる親寄上の支 が、將來かゝる親寄上の支

村並に中小商工業對策其他が開、民政黨の恐村議三氏の農

日午後四時唐有壬氏を伴び蔣「南京國通」汪精衛氏は廿二

ば各派の質問は一巡するが更

戦を載行同日で本質談、質問残つてゐるので廿五日の質問

へを恐れ

は打切り論戦の中心は豫算

算總會は理事會の決定に基き 會に移ることとなる而して 制度改革の軍師 一月頃實施

【奉天國連】南京よりの入電に依れば野介石氏は今回何應 、全國車師制度の改革をな 等にととなり着々準備中であ るが、實施期は二月頃と見ら るが、實施期は二月頃と見ら

北鐵沿線の

公衆電信

取扱方式

决定內容

決定したものと信ぜ

一、電 次の如く

通信に を分野

新京組合銀行 定期總會

新京組合銀行手形交換所は昨 電な成績をあげ今日に至つて 関な成績をあげ今日に至つて 期總會を開催する同交換所の 定期總會を開催する同交換所の 定期總會は年二回即ち一月と 七月に開催されることになつ て居り今回は創立以來幾何も 北鐵沿線に於ける公衆電信電 電氣課長と電々側松尾企畫建 部業務、市橋外信及び豐田線 部業務、市橋外信及び豐田線

は現狀のまゝでおかれるはずの發表及手形交換所の輝費の一次算報告等で委員長及委員等のので現在までの事務成績

「東京園通」北銭交渉は二十とオランド 二日事實上成立したが退職場 せんとする 金支拂に對するロシア側回訓 化して來か 新詢奏請手機に日滿協定文起草 緑限までに 英員會に附するが一ヶ月ほど る日本晒線 委員會に附するが一ヶ月ほど る日本晒線 本ランタボ 解あり又日ソ交渉文の福府御 待して居た が 神るり又日ソ交渉文の福府御 待して居た が 神るり又日、交通での が り で 起草を終るべく三國間に諒 オランタボ 解あり又日ソ交渉文の福府御 待して居た が 神るりで外務省での 満り協定締 特にキャン が 神るりで外務省での 満り協定締 特にキャンド で 記載 は いっぱい は に は いっぱい は に は いっぱい **筈である**

支那一

日満軍攻撃を報ず

衆議院本會議質問

廿五日で打切

論戦の激化は廿六日から

英蘭綿業者

日本品對抗策

福業の輸出防衛策として英國 ・ 日某所養電によれば最近日本 日某所養電によれば最近日本 一千名が飛行機四臺、裝甲事 那軍の損害莫大と報じてゐる 一千名が飛行機四臺、裝甲事 那軍の損害莫大と報じてゐる (上海國通)廿四日朝の支那 二十日夜九時突如沽源、獨石

昭和九年度

全满本

需給額

四百六萬石に達す

北鐵讓渡調印 ランダ、トーエント紡・スた、即ち右は日脳會 アルスト、即ち右は日脳會 アルストの 原綿業者が提携 日

種々協議を行ひ正午散會した哲元は祭東の情勢を述べた後哲元は祭東の情勢を述べた後 た後宋回

頃か

劉し電々に譲渡する 線として現在の通信線 強治線公衆電報電話用 の内より支縛するものである を考慮して東部西部線に一回 を考慮して東部西部線に一回 を考慮して東部西部線に一回 を考慮して東部西部線に一回 一月下旬よりは毎日一社當り年間の電人を行り目下相當の在貨を見たので、十二月末より毎週二貨車に輸入を持り目下相當の在貨を見たので、十二月末より毎週二貨車に輸入を減少してある、一方比機會を利用した、而して昨年下半期に付七圓二十十萬圓の電上高を示する。

管里により引き、これがでは、 に於てこれを行ふ事に決定、 等で諸般の準備完了し待機の に終道と併行して電々會社 他二、三名がハルビンに赴く で議覧の準備完了し待機の で機道信線の接收は調印と同 揮の為本社より建筑業務課長 一、 一、右護渡は有償とするか無 では、電本會社は沿線主要地に 電機局電話層を開設するは が鐵道電機の取扱ひを鐵路 につき七銭乃至八銭の手敷 につき七銭乃至八銭の手敷 につき七銭乃至八銭の手敷 おに依存して居る公衆電話 を切り離し電々に於て經營 を切り離し電々に於て經營

品取 目扱

の姿勢をこる電々會社

輸入中止せず

松風濾水氣

は

郎四善田安取頭

目品業營

車機重發洗石揮 油油油油油油 カカコクアグ X I 及 ラ V

社會式株油石本日

公主嶺

東亞號 東亞號 東京 一次 (未店大連) (支店奉天) (未店大連) (支店奉天) 東亞東亞藥房

◇どんな濁水でも一度の濾過で實に透明な清水になります。 ◇一度の濾過でコレラ、赤痢、チブス菌を完全に除くことが出来ます。 ◇各御家庭の炊事場に御備へ下さい皆様の御健康を絶体に保證します。 ◇海が薬局などでは之れから蒸溜水の代用水が得られます。 ◇海が薬局などでは之れから蒸溜水の代用水が得られます。 ◇大阪が薬局などでは之れから蒸溜水の代用水が得られます。 ◇大阪が薬局などでは之れから蒸溜水の代用水が得られます。 ◇大阪が薬局などでは之れから蒸溜水の代用水が得られます。 ◇大阪が薬局などでは之れから蒸溜水の代用水が得られます。 ◇といる濁水でも一度の濾過で實に透明な清水になります。 せ濾る 張京所 んな器の様の 道栓に取附たもの 二时 金二十三圓也

信用失墜問題ともなり政業 のため良くないから政民権のため良くないから政民権のため良くないから政民権の定義を解散に導くだめ、要するに政者を解散に導くだけの決心はない様であるか あいて打切り二十六日より速を根度に恐れてゐる支那側は 一般の頃より所謂爆彈動談の後始とを派してゐる故近く解決交 大き間題をはじめ綱紀問題その 大き間題をはじめ綱紀問題その 大きがしてゐる故近く解決交 大きがしてゐる故近く解決交 大きがしてゐる故近く解決交 大きがしてゐる故近く解決交 大きがしてゐる故近く解決交 大きがしてゐる支那側は 一方、日滿電局も熱河瀟清の

飛機越境着陸に

ソ聯政府が遺憾の意を表明

【北半瞬通】日本軍攻撃開始 き官無は未だ公報無きため 意 見の酸表を差控へてゐるが大 りとせば砲撃された東橋子支那側の霧道が果して真な 他繁は撤退開始を言と減洲國領土であり のことである、獨石口攻撃 あ同様で長城線を越へるも のでないとは云へ長城線を 域分で敵勢行動に出られれ ば身に降りかいる火の粉と 間様之に磨懲を加へるを得 ないであらう 禾

北平軍事分會委員會は 関通」何應欽勝平楼の 祭東問題協議

般一服械ン類 日本軍需 公主 話三八八八、 品

京 西 公 朝日町五番 園 五六四〇零

可甲南一各第日 種業・中一本の女學・「大大 特部校三校二學 別大へ四に四の 人認問者信。」の 制

始開期學新春新

② 本本のでは、八里出 第一流教育家の執

!!で録義講の一本日!ベ學 代が本るのと設今少有獨日努だ力中 できで。實しけ同年為學本方。がは是 進で御討績でて校諸なさ大一諸絶中れ 呈中覽細を通校外君るれ事つ君對學か すび下は學學外教の全んでだ!的柔ら るめさ内げ生中育為國とは!勉に業の ばい容で以學部めのす異我强必の世 無い見居上生をに青るにがは要學の Air-

に取扱ひが面倒であた。 薬糖は、地質を あ用濾 りひ水またす

三四七四〇五六六四一八〇三四二 食料品、其仙雑品、人絹織物、紅類、豆油其他油脂類、石炭 社所三保保 險

出新

三井物產株式會社 一大東 連市本橋 縣室 全 額 拂二 丁目 込番 濟地地

資滿本 本支 金店店

(=)

英國產業聯盟

 (Ξ)

日滿視察團報

告書

即練及動勉の精神を有す日本 事を以て生活の手段と目する時代より驚陶されたる忠誠、 一たり日本の禁働者はその仕財産を有するものと云ふべし つ日本の産業を旺んならしむ財産を有するものと云ふべし つ日本の産業を旺んならしむ 式もゆか 宮中御歌會始め

凰

ならず負債及税率關係に於て 日本産業は英國産業より大な る概味を有せり一例を擧ぐれ ば現在日本に於ける一人當り 公債負擔額は近年日本の內國 低に莫大なる増加を見たるに も不拘英國の失れに比し著る しく少額なり日英兩國の負債 のなり日本の場合に於ては單したる度合が遙に輕かりし事によること大なるものあるものあるも 世四日午前十時より宮中鳳凰間に於て 天皇 皇后兩陛下 は約六歩をひかへて諸役の席 は約六歩をひかへて諸役の席 をしつらへ、午前九時半入江 たは燕尾服に儀容を正して着 たは燕尾服に儀容を正して着 たは燕尾服に儀容を正して着 たな 一次下各寄入其他奉行、護師 たび 一次下各寄入其他奉行、護師 一次官等は玉座近くまた光榮の 居 一次官等は玉座近くまた光榮の 居 一次官等は玉座近くまた光榮の は、内苑の梅花漸くほころぶ 新春の御行事歌曾始めの御儀

日五十二月

十時 天皇陛下には陸軍御通 院職者は何れもフロックに蔵 **從長、本庄武官長以下を從へ** 松平式 部長 官前 行、鈴 木侍 常禮裝に大勳位副章を御佩用 諸員最敬禮中に出御、玉座にしく竹屋女官長均下を從へさしく竹屋女官長均下を從へさ させられ各皇族方御後に供

は満りなく終へさせられ諸役 に野しては南溜間に於いて酒 に野しては南溜間に於いて酒 に野しては南溜間に於いて酒 に野しては南溜間に於いて酒 を始め 順次下 位より上 位に歌」と朗詠の後光榮の預選歌

ば世界大戦中英國民を書出せ しめたるが如き精神こそ日本 胸東の関展を正しく評價せん とする者はこの事實を看過す べきに非ず 政府の援助 四、産業に對する 本政府は産業の指導と獎勵 を有するものにして其の力は 従來多く保留され居たるも將 で有するものにして其の力は

き



話でもある、商人は許す限りもなつてゐる物價高は苦痛なれば滿洲國の土産話の一つに

でもあららし消費者側からすれば消ば組合の設立は大打撃

合について

り、商店業者側はあくまでも り、商店業者側はあくまでも り、商店業者側はあくまでも 現在のところでは財者間に何 変の姿協點も競見されそうも ない、勿論財者共にいひ分は 然かった。 かって陰むことを離明してぬて のでは財者間に何 本い、勿論財者共にいひ分は が

B

買ひたいのは當然である、そうし、買ひ手はなるべく安く

来たのがこん度の官吏消費組 来たのがこん度の官吏消費組 自分達の手で消費組合をつく 引下げてくれなければ俺達は こで商人がいつまでも物價を 利益ばかりを主張して護らな然し販賣者と消費者がお互の

苦 い模様である

小兒科

院長醫學博士

(公學堂館)

電談立に到り活用せらるるの は少額なるも和合丼に輸出協 は少額なるも和合丼に輸出協 は少額なるも和合丼に輸出協 は少額なるも和合丼に輸出協 は少額なるも和合丼に輸出協 は少額なるも和合丼に輸出を は少額なるも和合丼に輸出を は少額なるも和合丼に輸出協

室町東一

電話五九一一 洲 國辭令

塞天省公署屬官 板野博美 を天省公署屬官 伊藤善三 を天省公署屬官 伊藤善三 を大省公署屬官 井上 宗親

化と協調を察ぐべしこの點に 一つの原因はその購買製造及 一での原因はその購買製造及

天皇陛下御製

のしけにた

池のほと

u) 2

ょ

や住み

n か

庭の 6

治安の一

口

復で

鄭家屯の活況

舊年末商况も順調

3 5

一見當なりと稱するも大差無関の糖取得額に結びつけてのみなし得るものなるが日本のみなし得るものなるが日本のの情質のであるが日本ののであるが日本ののであるが、

歌は左の通りである。 天皇 島后爾陛下出御の下に行はせられたがより宮中鳳凰間に於て 天皇 島后爾陛下出御の下に行はせられたが古式床しき宮中新春の御行事歌會始めの御儀は内苑の梅花漸くほころ。

三陸下の御製

皇后陛下

たつのこえみ

P

0

ちまて聞えき

b

御池の岸に

2

皇

太后陛下御歌

大君の千代よふ田

0 3

日滿軍警の不屈不撓の努力に に比し約倍量の商品仕入を行よつて鄭家屯地方の治安は著 ひ既にその大部分を賈捌き得よつて鄭家屯地方の治安は著 ひ既にその大部分を賈捌き得 とこれらを順子とす によって生活してゐるもの多 株に満人方面では近來愛價の く一般に困窮してゐるもの多 株に満人方面では近來愛價の く一般に困窮してゐるもの多 株に満人方面では近來愛價の く一般に困窮してゐるもの多 によって生活してゐるもの多 によって地方農民購買力 ベスト發生のため一時鄭家屯 や逃避して茂林、大平川、三 般市況は數年來にない活氣を 江口、四平街各地に出廻って お 一定者はない見込である、金融 生活者で、これらを顧客とす で達すない見込である、金融 生活者で、これらを顧客とす で達すない見込である、金融 と話者で、これらを顧客とす で達すない見込である、金融 と話者で、これらを顧客とす 機關としては中銀支行、朝鮮 の る關係上年末に際して特に著 機關としては中銀支行、朝鮮 かる關係上年末に際して特に著 機關としては中銀支行、朝鮮 かる關係上年末に際して特に著 機關としては中銀支行、朝鮮 かる關係上年末に際して特に著 機關としては中銀支行、朝鮮 かる關係上年末に際して特に著 機關としては中銀支行、朝鮮 かる關係上手では、対策を開発している。

奉天省公署

給

率天省公署

み池の鴨も

UD

ますら

率天省公署屬 (各通) 河原烟威一郎

新八級俸 奉天省公署屬官 圖 家 常 給九級俸 數本榮次郎 奉天省公署屬官 本田 奉天省公署屬官森

給日級俸

二百、羊百五

(B

その日常生活の一部をなし見るものなるが忠誠と宗教とはるものなるが忠誠と宗教とは

民的結束の精神即ち回顧すれたなさしむるに對し貢献するものと感得し居れりこの國

らるる場合に於ては産業上の政府は共同動作の必要を認め

とに對し大なる役割を演じ居

等働者数を相對的に増員せず 大調査指数を基礎として作成 行調査指数を基礎として作成 で加たる興味ある圖表に徴し で明なるところなり同間表の で明なるところなり同間表の が一大三〇年乃至一九三四年中生 整高増加三十五パーセントに を高端加三十五パーセントに を高端加三十五パーセントに

熱河

省に於け

3

する寺小屋式のものである して居る

思想

力の増大ありしのみならずそ更に日本に於ては現實上生産

四、產業

五、宗教、教育

断線等の故障多く関滑でない。

に改良指導を要する 能の製造あり販賣組織と技術 に改良指導を要する

洲國の帝政實施を謳歌して居 識もよく王府所在地にありて 議をよく王府所在地にありて が表する認 の権力復活なりて滿

外に羊毛製材 り商人の大牛2 り移住せるもの

しと断ずることの思なる

で次く、職皮羊毛の産組可成 りあるが其消化方面推劣のため徒らに中間商人を登するの みである

宗教は清朝の對豪政策により寺院堂塔の見るべきものあり寺院堂塔の見るべきものありてはめず観顧寺を射設せしめて居り、宗教勲は他地方に比し歴盛である

り、統制上當局者の注意を要り、統制上當局者の注意を要り、統制上當局者の注意を要して居る事實ありて著しく悪化し表面親しく

は萬法より進步的のものを見主として最牧衆業であり、長

間間とするも日

歐畜の改良、飼育法の改善等

歴校あり、蒙族の子弟を教育 及小賦倫には王府戦設による を表示議論には王府戦設による

七、王府 東特默土王府(阜新) 東特默土王府(阜新)

に力を注ぎつゝある状態なり、他王府に比し教育の人。他王府に比し教育

信は阜新、松南に至り、松田の一番、阜新に至り

高子であるが、開

東、開魯に通ず

七、

は開魯銭家店よ商界に商務會あ、電報局、 十、豚五十馬二

可分の關係から 普通である、高温の関係した の建設を阻害す を考慮して緊急 等がある、一郎 者としてもこの の余地は大い までたつても

奉天省公署屬官林 意味した昇鉛ではないだら ある、満洲 とを多分に 喜源太

迎のおそれはな 般に財界の不况

內科·X光線科 ·物療科 醫院

H

本八三、元步伍松本繁八兵庫) 本八三、元步伍松本繁八兵庫) 本少三、元步伍松本繁八兵庫) 本野河省双廟近伍品川三之助(外 整河省界嶺口砲上中西元一(局 東京谷步伍吉田二(岩手) 全東京省東嶺口砲上中西元一(局 東京谷步伍吉田二(岩手) 全東京省東嶺口砲上中西元一(岡 大石門歩特曹 大石門歩特曹 大石門歩特曹 本教河省大石門歩特曹 大石門歩特曹 大石門歩特曹 大石門歩特曹 大石門歩特曹

中央通十一番地

吉田秀雄

プンポ戸井立日

商

一手特約店

天千 電話 匽 五三一二番新京朝日通二五番地 長三一〇四

一七五七七十三號

庫豐富 レ勿ス落見



防 毛具 皮 ょ

東書にて左記に申込み下さい 東書にて左記に申込み下さい 東書にて左記に申込み下さい 東書にて左記に申込み下さい 東書にて左記に申込み下さい 東書にて左記に申込み下さい 一、が江京澤後を手前の・・一時のつました御利用願ひますの御便宜を計る爲左即収扱を致しまてか

質 化小半 粧間え 品物り 輸入組合加盟店

保管叮嚀。 流質品澤山有ります、流質品澤山有ります

肥後屋質店 電話五二九四番

電話三〇九二番

新春。

半衿 帶メ、帶揚 小鳴物類

豐富荷着!

愈々酷寒來る

事門店 新京毛皮洋行

(喫茶ナナ隣)

の準

好こして左っ個く前半年副期 被少を豫想されてゐたが、財 政部國稅科の調査によれば本 で)の稅敢入は極めて成績是 で)の稅敢入は極めて成績是

一四期 五割增元分词

資施され が従来非 がたもれ

か多く入港の際多大の支援方とりはかつてゐた最短方とりはかつてゐた最近が特に依賴して港外

一C二九>は昨年二月二十九日三號元三 浦洋 行店 員柳 村靜廣縣 集れ新穀屯豐樂路七一

三浦洋行の店員として確はれ

種痘證明なして

渡台は不可能

旅行者は御用心のこと

書を所持すること

主金横領の

恶店員

逮捕さる

舊年末多忙 芯に聯合會 息工

れる

?

反消

運動

八、三〇 經濟市况 午前の部

聯合會を開催する空気にあつ | 會でなく別の形によつて舊正 | 末ころ新京に第二回目の臨時 で若し開催するとすれば聯合 | 標である | 原語所称合會では反 | たが目下舊年の暮を控へて各 | 早々に會議所の會合を開く模 田商聯合會長

の急速なる撤廢を期すと云ふ 投票文を手交してその質型を 内部ではよく理事會の方へ お嫌べする旨を述べる 田氏は おりんする 日本 は 一三十分にして辞去した 消組撤廢の决議文を手交

兒童

洪

満電に市合資の

大汽車公司設立

|月頃には實現か

十五銭、

総、奉天四十銭である

小學で十三

學級を増

加

三田村亭氏(敷島通り四號

は獨身舍宅向十八字

風呂、

室

梅枝町三ノ六

日出生 八番地)四 日 大番伸衛氏

5男滿衛さん十六 (住吉町二丁目

見當

八島小學校

新京醫院

卓球試合

電

今春四月新入學する感謝兒童 の學級編成その他に關し新京 地方事務所では二十四日各小 學校主席訓導を招致してこれ が打合せを行つたが、二十四 日までの届出兒童數は 室町校百二十七名、西霞場 校百六十八名、白菊校百四 十六名、八島校百二十五名 十六名、八島校百二十五名 十六名、八島校百二十五名 計五百六十六名でなほ鍼々 間出があるであらうから結 局三月末日までには七百名

日 単校、公學校で組織されてる 室町、西廣場廟小學校、普通 會に

た、來月中旬歸京の豫定時新京設列車で內地へ出設し時新京設列車で內地へ出設した、來月中旬歸京の豫定 赴日

に會し準備の打合せをなしたの白菊、八島兩小學校も加入の白菊、八島兩小學校も加入の白菊、八島兩小學校も加入の白菊、八島兩小學校も加入

開錦安本鐵昌懷奉 原縣東溪嶺圖德天 湖

一線にたつてゐる皇軍を尉問 もので締切に二月五日であの極寒と戦ひながら、國防の第 なつたが價格は五十錢程度國防婦人會新京櫻祝會ではこ するため尉問疫を送ること 皇軍

問袋を送

に

食劑(1) 音訊

が店の一瞬はに事食行の別連族家お

,番五一四四表代話電(統南社神)通典中京新

市献立八毎日秋洋食犬取換へテホ調理取シマス 市定食/市場段其他主ナル召上リヤ下紀ノ選リテス

--¥ 1.50 --¥ 200 --¥ 1.00 --¥ 1.50

京新都国

新京

櫻祝會員か

3

▲ 高初泰高氏與運路から同上 本所要文郎氏老松町から開生 本所要文郎氏老松町から同上 本所要文郎氏老松町から明徳 本所の一丁目四十三號ノーへ

時時

五、〇〇 子供の時間 京城上り) 見童劇 影 池上り) 見童劇 影 池上り)

明鶴春舞ぶ

四五 ニュース東京よりで 演藝(吉林より) 常子 平 専子

8

Ę

一谷瀬軍記(大阪より) 一谷瀬軍記(熊谷陣屋の段) 静報、ニュース 三 東京より) ニュース (東京より) ニュース (東京より) コース ・ニュース (東京より) まま後し、満洲) はまたした。 歌澤寅右衛門

ţ

四ッ三

五レ味

彈線 義

座ずのく現り城

微 いとで復在時内

おいた大大・ニー

は微苦笑ながれる無は知りない。 笑 申 U ます

H

間日二

夜畫

六上

ら社をりれと 申は踏まて同 つむせ居音 上洗にんり字る濯到がまの 次業り最し洗第一ま近た濯 でにし甚該業 御非たし店あ

===社

大プラ史会 ¥100 墓の 内 ¥ 80 ホ子様弁曽 ¥ 50 ・まるよぞ)に療者とあり返出して ¥ 100 ¥ 80 ¥ 50 ドウヰッチ洋菓平季的飲物季節果物 日間 共 晝夜二回上

● 釈洋食英山前出張 お調理致シマス●

歳でも明けたら別の形で 幹事長訪問 曾議所のよりあひ ラ新三笠に足繁く通ひ同家抱 ・一の百二十圓を消費もの他カ ・一の百二十圓を消費もの他カ ・一の百二十圓を消費もの他カ 索をなし證據品を押取した村を逮捕するとゝもに家宅捜事館署大谷内刑事が探知し細 してゐるを二十三日新京總領 日滿語研究 九、四〇 經濟市况 九、四〇 經濟市况 (東京より) 1〇、二〇 料理獻立 (奉天より) 一〇、二〇 經濟市况 (東京より) 一〇、五九 時 報 (東京より) こ、〇〇紹済市况 〇、〇一の部 (大連、引續新京) (東京より) (東京より) (東京より)

花嫁御寮 お婿され

/記念公會堂 /の食堂經營者

サテ、一体誰の手に 四日午後七時から嬉野に出入 新聞記者を招待、事務所側か らは芳賀所長をはじめ各幹部 あ出席し非常な盛况であつ

芳賀新京鐵道事務所長は二十

新京商工

一會議

所

躍進な

で期待さる

會議所法實施

記者團招宴

模範稅捐局設立で

匈稅成績良好

財政部國稅科の調べ

に比して何れる増加を示し

芳賀鐵事所長

にであるが大連、率天の新電 話番號簿はこの程新京に到着 であるが大連、率天の新電

新京中央電 新局の新電 二月一日現

大 新京日報

居 住

歡迎會盛會

八鳥尋常小學校には公衆電話 から新京醫院コートで行はれず京鐵領事務所對新京醫院の

く八島校七學級、同じく口これがため現在六年生を結

級白缺れ名結

消 息

產

告 ラ営

向業

上,

ガ

キネレユナリナ西バミセセミキトカシフ長サ山野馬玉ホシタ玉水京ク蓮白人午蕪ウワ葱ウーモ ンス セツ ロカウウボナ パッ 鈴 1 ヤカ サ カブンズシゴビ瓜リバリリンリガチウキ根マ芋芋薯葱レク菜菜菜菜イ根菜薹旁 ドビ

鏡 型行流新最

前堂子太目丁二町祝 番九〇二三話電

効陽發報 果紙行へ

協和報(旬刊) 一部報覧 (1) 利い漢文 重發

(中四日)

都で電話四九〇六

命展 十 莊村木 督 監 ● !!作大の慢自 L.C.P 旗助 好是村中,子中つ江近,子清 高,明井岸●演主一建本榎

高景界 斯本 日、麗 穀 全● 演出總同 合 座一ン ケノエ 他 L、C、P イデメコクッジュミ● 用使 影 撮 ルエチッミ 秀 優 最 界 世 いあさ、すでる け あを 蓋 とつ ば 々 愈 か る 出 が 蛇 か る 出 が 鬼

おを ぼつ 尻 も 弟 兄 ス.クルマ は 果ンリプツヤチやドイロ ハやしつらうがンケノエ・すでいしら 暗素はンケノエの等れわ程 すまし出げっすでのふ 言とう ろやてつ使 をクツジマのけのこそ 團術魔テンダで いな譯申でし對に 先祖やりけな 見は度一 さく語のでま代末 部業事會員社鐵湖京新接後會賞鑑書映京新。

!!巧成と利勝の術感 書映 び再そる イマグイワンケンラフ・ラメカ・氏ーハスイウ 賠知的理學の讀奇!!へ賜耳!!激感と の論心唯!!切封てへ題に認切の人萬 女グンヒナジ色脚.版本日作特超スピト乙獨 表黒るさまに激感の女處の服制氏や

i 熱∧比ンマーイワ·スアチマ・嬢レーイテ·タルへ・嬢クーイウ·アテロド

で本研マ降と黄日全妖新監故米 ちゅのルく病熱本 後 星 人 国 コニ は所口上篇の流 金料 かは既に定評のあるところですから、流行に全滅のアフリカ土人を研究中小れた人道の戦士の以上の猛獣の線度な争闘と迫病は一般とのない。 錢十三

田ト一十世 华作

うにする (と聞つて、他のしたのである概を見上げると、様のや

はを続けて行って、人に告いても はと続けて行って、人に告いても はというと、しかし、どう

見書が更につかねえ」

響は、どうやら聞える

通行して、魅かの金が、脚にあり



志雄

= 4

(五十五) (五十五) (五十五) (東世版化 (三) 高いところかららしく。) 高いところかららしく。) 高いところかららしく。 (野世版化、田崎の柳瀬を通って 内郷遊は、田崎の柳瀬を通って なんが、それより上にまた山瀬が はあたが、それより上にまた山瀬が はあると見えて、雪はどうもその池 てお聞さん、何だらう?」 「おや、お削さんは、切さんか」 けなすつて下さい 四郎は、一座標子を探ってから

・・どうぞ、お助

「助けてと云つてゐるから、大方 を、飲ねてゐる 解いて置らうと思って、 聴い数に過ひまして、

僧侶は順眼から、涙を落した。

助けて黄ひたいんだらうよ 「何うだな、何事も人助けだ。時

四郎は、一寸か首をひねつてる 「最かがとれへお出で下すったの

てもりや実験だつたね。見たところ、大層強さうな好さんだが、何。 者のため、こんな絵めな目に過ひなすつたんだ!」

と、四郎は、上を見上げながら

闡碁界の大家 瀬越憲作先生は

ませ

5

沿るものを沿さずに

おくのは愚かてす

散週間

せき

を

頭腦の攝生に就

斯ら申されます

喘痰

息。咳

近頃驚かされた話

勝りです。人混みや公會の居上でゴ 咽喉を健全にする事は交照人の

と眩をする人達は、たんせきは

治療し得る

といふ事を知らぬ非交野人といへるからで

永年慢性にて苦悶せる人も、一度

龍角散の治療を施して

ごらんなさい。

快い印を迎へ

ることが出来

分な實力を發揮する事が出來ず思は以不覺を受け勝ちですから常に頭 二時間の對局でも勝髄の芯まで疲れ果 恐らく誰でも經験する所でせう。 てゝ暫らくは放心狀態ごなる 々相摩する熱戦を演じますご盛か一、 るまいと思ひます。好敵手を迎へて飲 殊に頭の重い日や頭痛のする時は充 茶や將棋ほど頭腦を勞することはあ さは

百息感

日: 胃:

灯を持つ譯ではありませんが、 頭をよけいに使ふサラリーマンや學生 だしはつきりして來る道理でそれに胃腸に障らないのが何よりです。 方なられ苦心を費しますが、 機略縦横な等 の持葉として藍し是程の適葉はないだらうと思ふのであり 後連服するにつれ頭そのものが強くなつて行くやうな気がするのです た頭痛が間もなく止つたので、先づ相當なものだと感じましたが、その れやか』といふ頭の楽です。初め服んだ際、折柄割れそうに痛んでゐ 服んで見た結果を書けと云はれるまゝに指文を認めただけで敢て提 頭の禁養剤 調子を整へ、 機略縦横な策謀が練れるやうな頭腦明快法に就いて一 成程頭に禁養が充分與へられるから疲れもとれる認 此の意味に於て近頃驚かされたのは『は

そ肺

の病

氣管内に停滯せる汚物、脈簾内の緊迫に

依つて、それを排泄し逃れようとする質

つひ嫁んしいカラセキと これを捨て」おくと反

病勢が進み、治るべ

きものも沿りま

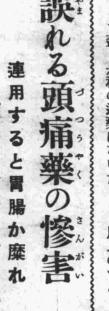
動に因つて益々 なるのです。

せん。此點評判の龍角散を必ず

お用ひ願ひます。

需用激説を極め

職務の眩は俗にいふカラセキで



頭腦まで惡くする危險

それが、助けを求めて語る者に「津州州智宗秋栗山の麓、犬居とい「何塵だ、何塵だつ!」

とゝでどざいます。とゝだつ、

います。動化のために、この過を ・一般日難と申しまする者でござ ・一般に思ります日達宗派が寺の住

ひょだつー

おきない。 ちゃっぱい ですから、常智は前待です。 ヒステリーなど智能 大阪 こうから、常智は前待で こうから、常智は前待で こうからない とステリーなど 野球 できしめられる人は自然地版す

僧侶が、高手小手に持られて、忠 と道の木の根元に、五十條りの

続りつけておけば、日が暮れると

師り上げて、向ふの山道へ頭入つ

日獨醫化學研究所

に関し、いいた

六四十八四二 十八日日日 定 分分分分分分 三二一五三二 價十十十 四四四銭銭銭

店

K あ

區豐島町

三郎商店

新京ダイヤ街老松町 天野

キン作用に因る感冒に罹ります。お子供 寒さに向ふと俗にいふ引風、又はバ

さんならば百日咳です。これ等は

油"

すると肺炎、肺膜炎、肺結核等に變症いた

します。然し兄來急性質の簌躞は治療

果も速かですから、

評判の龍角散を

お用ひになる事

をお薦め致し

電話長二九六七番

其他土木建築諸材料商 も話はとれるる 新なの手及士で貢 目種業營 新京 飛町三三(側心町) 勘冬の洋服オー 个類 世帶道具一式 和洋酒罐計類 食料品雜貨

